

岡山県感染症週報 2022年第10週 (3月7日～3月13日)

岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です

ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い・換気!

◆2022年 第10週 (3/7～3/13) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第8週 2類感染症 結核 1名 (50代 女)

第9週 4類感染症 レジオネラ症 1名 (70代 男)

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1名 (中学生 男)
梅毒 1名 (50代 男)

第10週 2類感染症 結核 2名 (乳児 女 1名、90代 女 1名)

5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名 (60代 男)

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 3,523名

0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
837	604	473	518	490	268	144	94	68	27



© 岡山県「ももっちと仲間たち」

ワクチン接種も
大切!



© 岡山県「ももっち」

【第11週 速報】○新型コロナウイルス感染症 1,740名の発生がありました (3月14日～17日)。

1. **新型コロナウイルス感染症**は、2022年第10週に3,523名の報告があり (第9週は4,002名)、県内での2020年からの累計報告数は55,698名となっています。詳しくは「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で196名 (定点あたり3.91 → 3.63人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、美作地域 (4.83人)、備前地域 (4.20人)、備北地域 (4.00人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など、詳しくは「**感染性胃腸炎週報**」および岡山県感染症情報センターホームページ『**2021/22年 感染性胃腸炎情報**』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	▲	★	RSウイルス感染症	▲	★
咽頭結膜熱	▲	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▶	★
感染性胃腸炎	▶	★★	水痘	▲	★
手足口病	▶		伝染性紅斑	▶	
突発性発疹	▶	★	ヘルパンギーナ	▶	
流行性耳下腺炎	▶	★	急性出血性結膜炎	▶	
流行性角結膜炎	▶		細菌性髄膜炎	▼	
無菌性髄膜炎	▶		マイコプラズマ肺炎	▶	
クラミジア肺炎	▶		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	▶	

【記号の説明】 前週からの推移： ▲：大幅な増加 増加 ▲：増加 ▲：ほぼ増減なし ▲：減少 ▼：大幅な減少
大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません)
空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などで始まることが多く、一般的な風邪や、インフルエンザと初期症状が似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。

詳細は、岡山県ホームページ → [新型コロナウイルス感染症に関するコールセンター](#)

今週の注目感染症

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m以内）で感染しますが、エアロゾルは1mを超えて空気中に留まりうることから、換気不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。予防接種が進められており、3月17日までで全人口の79.3%が2回、32.6%が3回のワクチン接種を完了しています。

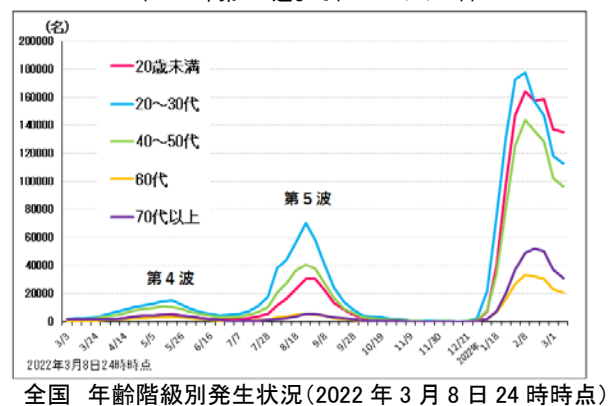
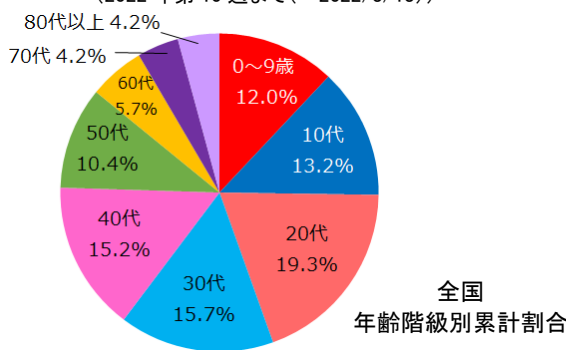
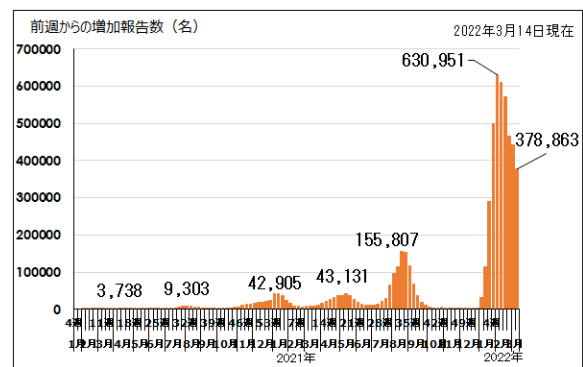
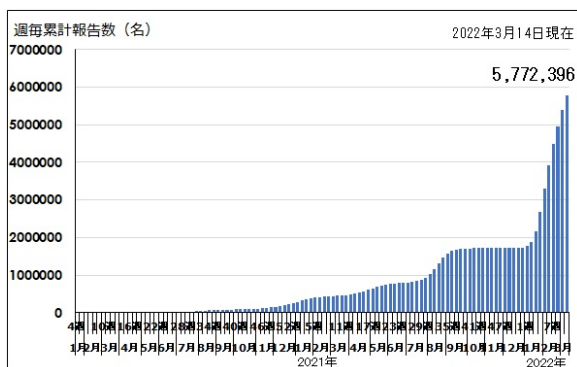
●症状

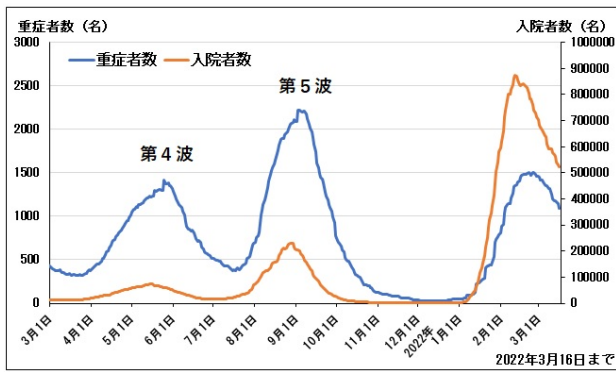
現在海外の一部地域で流行の主流となっているオミクロン株は、潜伏期間が2～3日と、従来流行していた株（デルタ株など）と比較し短くなっています。また、上気道で増殖しやすい特性から、従来株に比べ、鼻汁・頭痛・倦怠感・咽頭痛などの風邪様症状の頻度が増加している一方で、嗅覚・味覚障害の頻度の減少が報告されています。しかしながら、肺炎が進展し、重症化する例も少なからず認められます。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。また、妊婦では妊娠後半期（22週以降）などに重症化する割合が高いことが分かっています（[日本におけるCOVID-19妊婦の現状（日本産婦人科学会、2022年3月1日付報告）](#)）。なお、り患後症状（いわゆる後遺症）については、こちらをご覧ください。→ [罹患後症状のマネジメント・暫定版（2021年12月1日発行）](#)

●発生状況

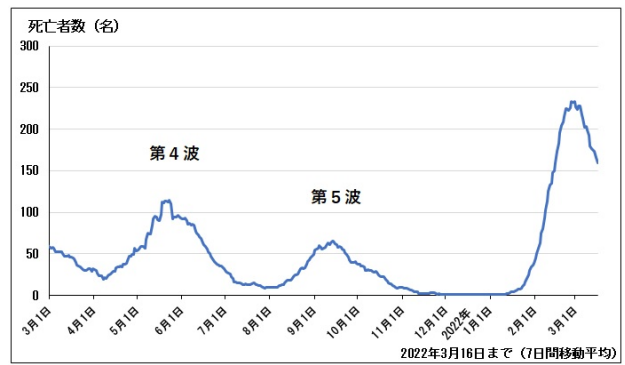
・全国

2022年3月17日0時現在まで、国内感染者は累計で5,911,813名、国内死亡者は26,600名、入院治療等を要する者は523,095名（うち重症者1,090名）となっています（厚生労働省ホームページより）。全国の新規感染者数は減少傾向ですが、減少は緩やかであり、しばらくの間高いレベルで推移すると予想されています。年代別では10代以下の割合の増加傾向が続き、また介護福祉施設などにおける高齢者の感染も継続しています。入院者数・重症者数の減少は緩やかであり、今後も、医療提供体制のひっ迫と、地域によっては重症者数の高止まり傾向が続く可能性があります。オミクロン株BA.2系統（現在日本で主流となっているオミクロン株BA.1系統と比較し、感染性がより高いとされている）への置き換わりが進んでおり、今後の感染者数の増加速度に影響を与える可能性があります。年度末から年度初めにかけて、卒業式・春休み・入社・入学の際などの人流の活発化や、人が集まる機会の増加が見込まれることから、更なる感染防止策の徹底に留意が必要です。





全国 重症者数・入院者数の推移
(厚生労働省オープンデータより(2022年3月16日まで))



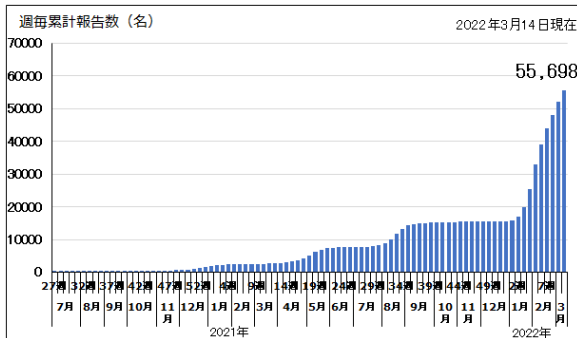
全国 死亡者数(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年3月16日まで))

・岡山県(最新情報)

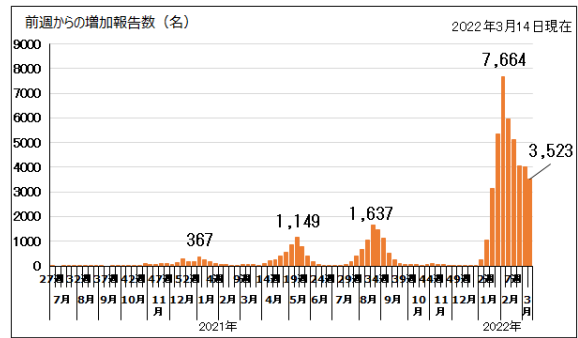
2022年3月18日0時現在まで、岡山県の感染者は累計で57,438名、死亡者は220名(3月11日～17日までの1週間で8名増加)となっています。高齢者施設・会社・学校・保育施設などでクラスターが発生しています。直近1週間の新規感染者では、20代以下の若年者層が半数以上を占めていますが、70代以上の高齢者も継続して発生がみられます。全国と同様に新規感染者数の減少に鈍化がみられています。また、BA.2系統の感染も県内で確認されました。今一度、基本的な感染予防策(3密(密閉・密集・密接)の回避、マスクの正しい着用、手洗い、換気など)の徹底に留意し、体調が悪いときは速やかに医療機関を受診しましょう。

2022年 第11週 速報 1,740名 年齢階級別発生状況一覧表

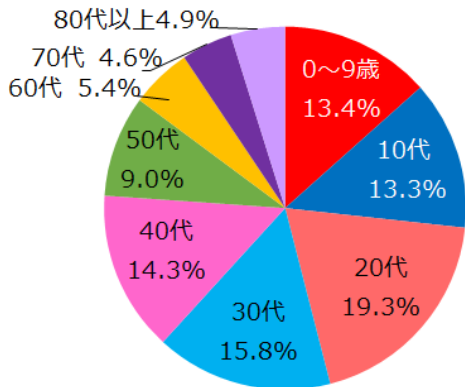
0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
370	306	315	297	212	130	48	30	26	6



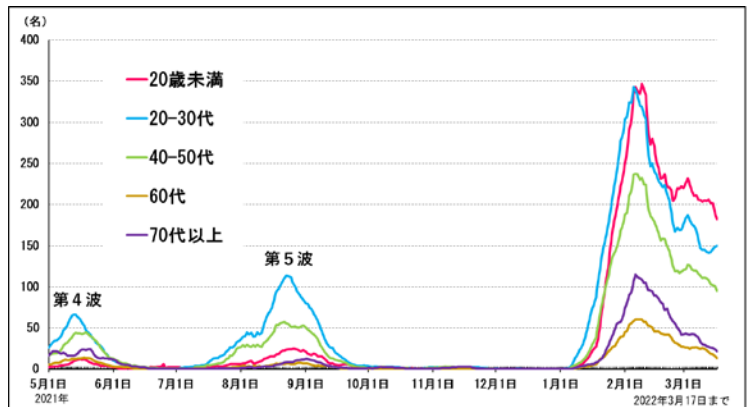
岡山県 週毎累計感染報告数(第10週まで)



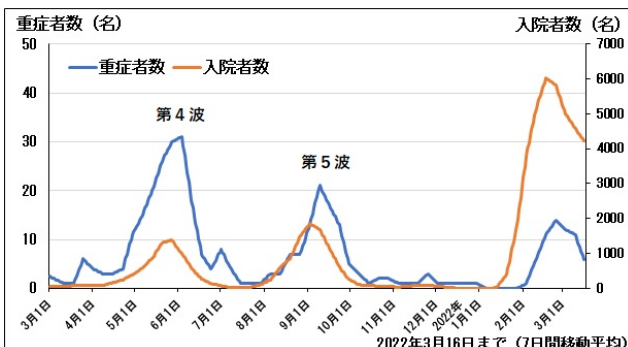
岡山県 週毎増加感染報告数(第10週まで)



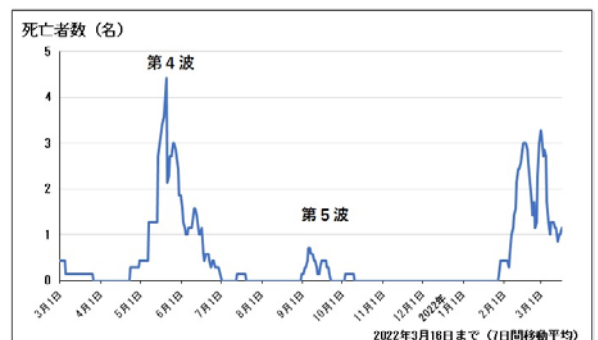
岡山県 年齢階級別累計割合(3月17日まで)



岡山県 年齢階級別発生状況(7日間移動平均、3月17日まで)



岡山県 重症者数・入院者数の推移(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年3月16日まで))



岡山県 死亡者数(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年3月16日まで))

＊子どもの予防接種を確実に！＊



厚生労働省リーフレットより

新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)
[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

風しんの抗体検査（無料）を受けましょう！

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群（CRS）※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます（岡山県健康推進課）](#)

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#) をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています（**2025年3月31日まで**）。以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

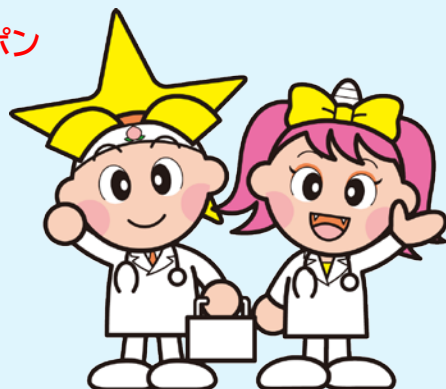
[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

3年間延長
されます！

岡山県の2019年4月～2021年12月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、27.5%(11月までは27.1%)と未だに低い状況です！
CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

[風しんの追加的対策について（厚生労働省）](#)
[風疹に関する疫学情報（国立感染症研究所）](#)
[“風疹ゼロ”プロジェクト（日本産婦人科医会）](#)



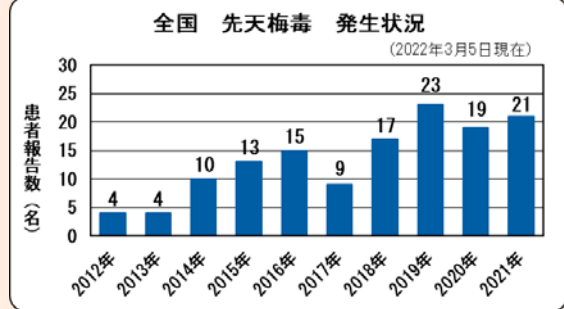
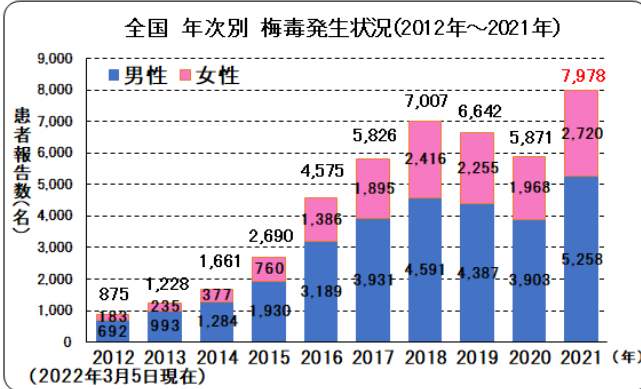
© 岡山県「ももっち・うらっち」

梅毒（性感染症）に気をつけましょう！

岡山県は梅毒の患者報告数が多く、2021年の人口100万あたりの報告数が、全国4位となりました（2020年は全国3位）。今年は全国的に報告数の増加が見られ、1999年の感染症法施行以降で最多となっています。[先天梅毒](#)の発生などに注意が必要な状況です。

☆梅毒等性感染症の症状・診断等の情報はこちら ⇒ [性感染症（国立感染症研究所）](#)

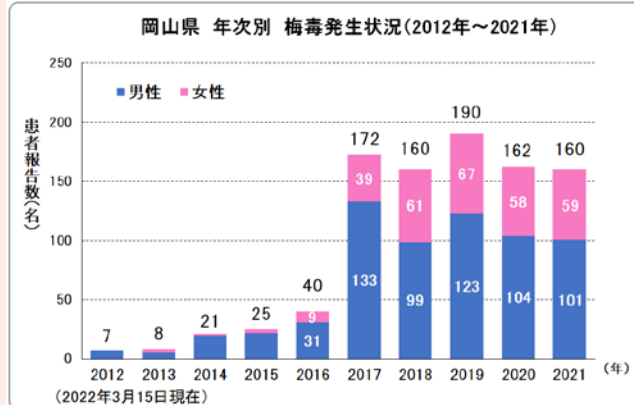
全国 年次別・報告週毎累積
(2012年～2021年) 2022年3月5日現在



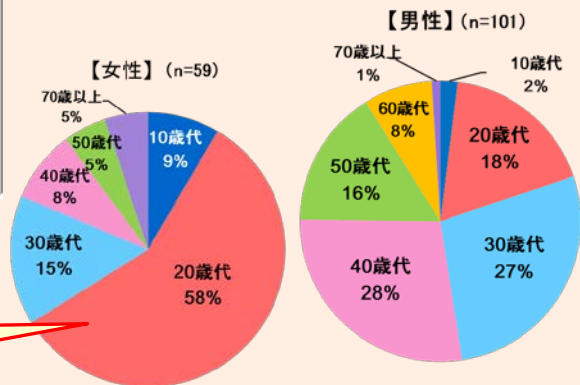
順位	自治体	人口100万あたり報告数*
1	東京都	175.33
2	高知県	137.28
3	大阪府	97.76
4	岡山県	84.75
5	宮崎県	83.18
6	熊本県	75.37
7	香川県	73.68
8	広島県	68.21
9	福岡県	67.96
10	沖縄県	63.39

*人口は2020年国勢調査を使用

岡山県 年次別発生状況
(2012年～2021年) 2022年3月15日現在



岡山県 性別・年齢階級別発生状況
(2021年) 2022年3月15日現在



女性は20歳代の若い世代が多くを占めています！

岡山県の保健所・支所では梅毒等の性感染症検査を無料・匿名で受けることができます！

*岡山県の保健所(岡山市・倉敷市を除く)では、梅毒以外にも HIV・性器クラミジア・B型肝炎・C型肝炎の検査も同時に受けることができます。(岡山市・倉敷市の検査はこちら)

*確実な検査結果を得るためには、感染機会のあった日から、3か月経過後に検査することをおすすめします。

*電話での事前予約が必要です。

*新型コロナウイルスの影響で中止となる場合があります。

○検査の日時などはこちら ⇒ [梅毒対策（岡山県健康推進課）](#)



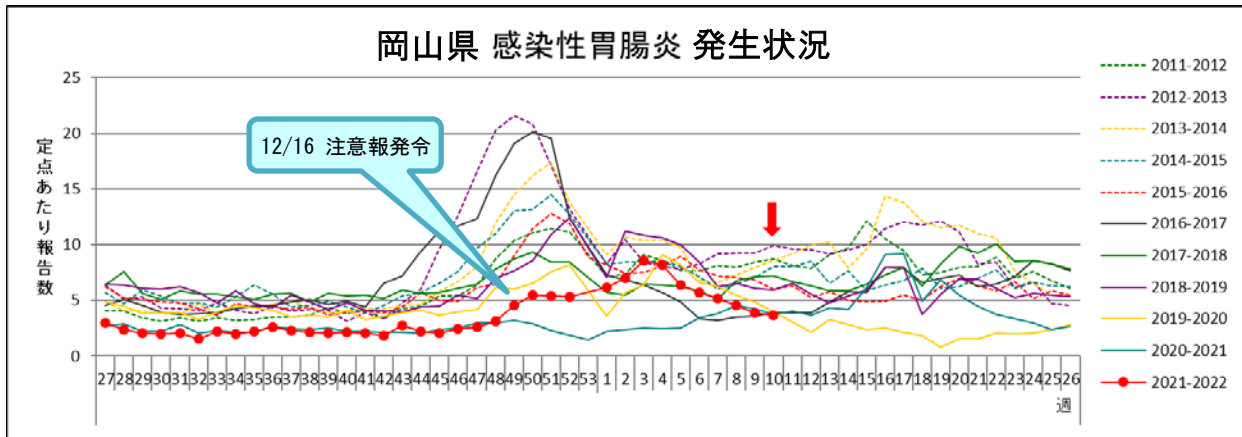
梅毒トレポネーマ
(国立感染症研究所 HP より)

感染性胃腸炎週報 2022年 第10週 (3月7日～3月13日)

岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

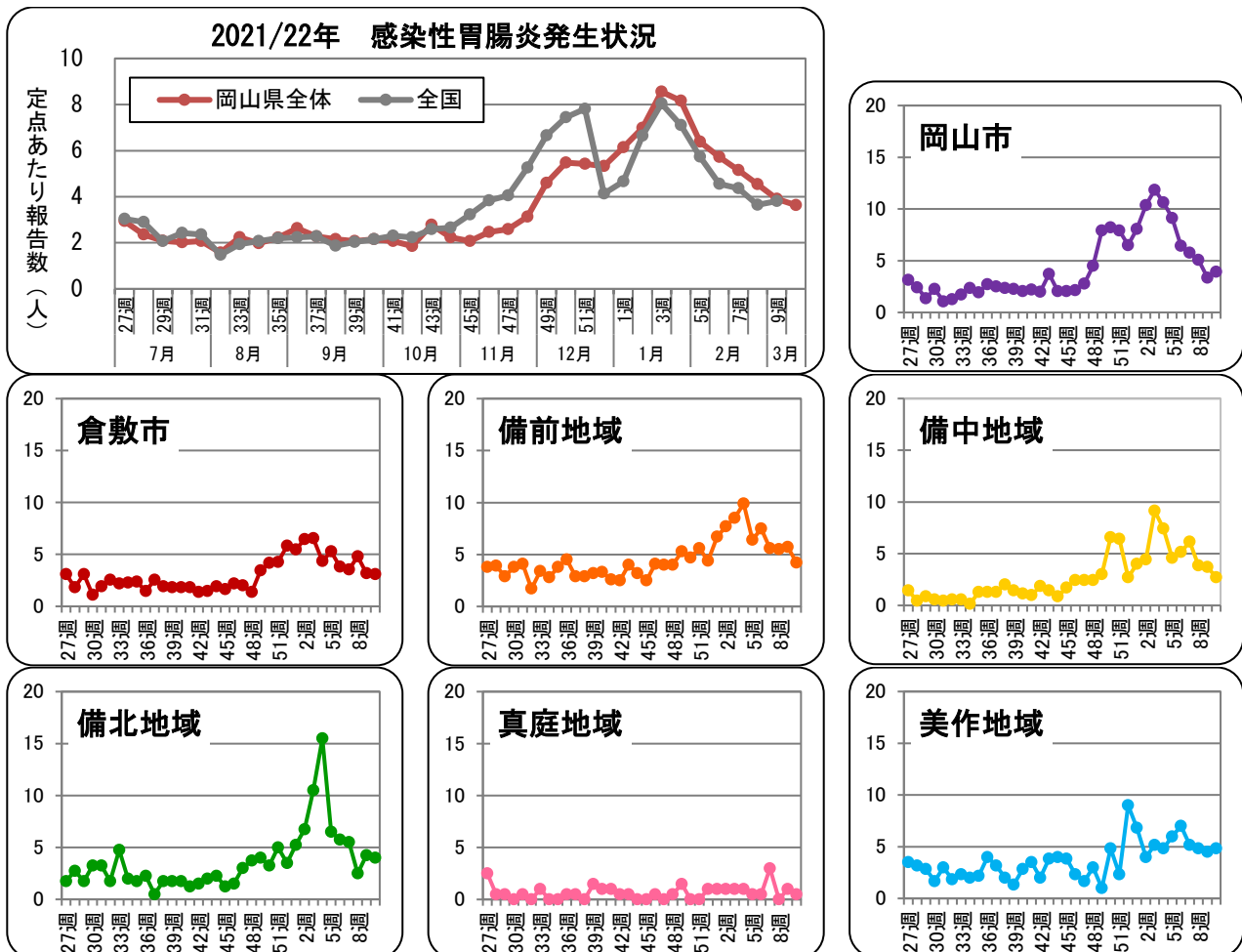
○感染性胃腸炎は、県全体で196名（定点あたり3.63人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。

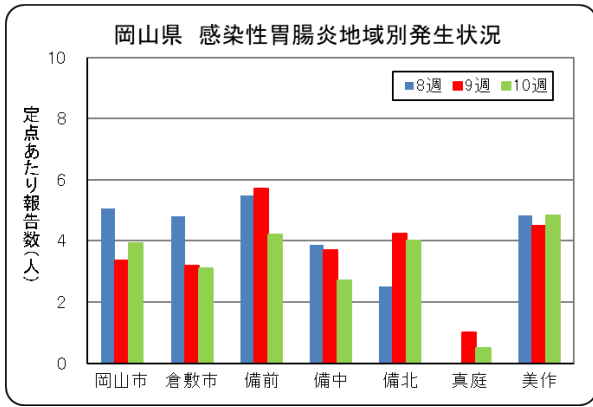


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で196名（定点あたり3.91 → 3.63人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。冬から春にかけての感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況

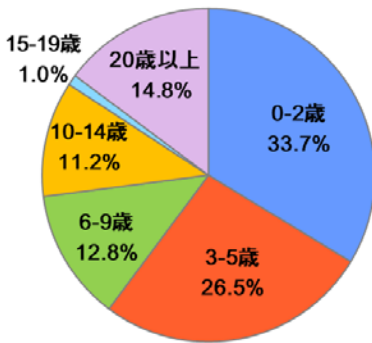




レベル3	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値
20	12	0
	0 < 20未満	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎 年齢別割合 (第10週)



小児科定点 (54 定点医療機関) からの報告によると、2022 年第 10 週の年齢別割合では、0-2 歳 33.7 %、3-5 歳 26.5 %、20 歳以上 14.8 %の順に多く報告されています。

◆◆ 感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予 防 方 法>

1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。これら进行处理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**(*家庭用塩素系漂白剤でも代用可)で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1 分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム**(*家庭用塩素系漂白剤でも代用可)での消毒が有効です。

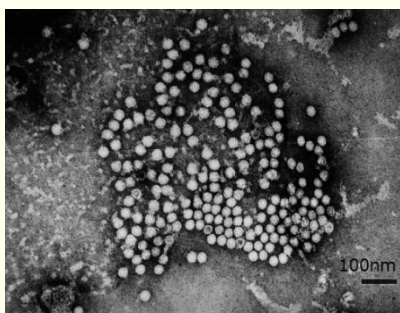
おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を 85~90℃で 90 秒間以上)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。



© 岡山県「ももっち」



※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

[ノロウイルスに関するQ&A \(厚生労働省\)](#)

[ノロウイルス \(厚生労働省\)](#)

ノロウイルスの電子顕微鏡写真
岡山県環境保健センターウイルス科



保健所別報告患者数 2022年 10週(定点把握)

(2022/03/07～2022/03/13)

2022年3月17日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	3	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.10
RSウイルス感染症	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	0.11	-	-	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	196	3.63	55	3.93	34	3.09	42	4.20	19	2.71	16	4.00	1	0.50	29	4.83
水痘	4	0.07	2	0.14	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	11	0.20	5	0.36	3	0.27	1	0.10	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2022年 10週(発生レベル設定疾患)

(2022/03/07~2022/03/13)

2022年3月17日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	3	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.10
咽頭結膜熱	6	0.11	-	-	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
感染性胃腸炎	196	3.63	55	3.93	34	3.09	42	4.20	19	2.71	16	4.00	1	0.50	29	4.83
水痘	4	0.07	2	0.14	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2022年 第10週 2022/03/07～2022/03/13)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	6	-	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	-	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	196	-	9	24	33	17	19	16	12	9	2	2	22	2	29
水痘	4	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	11	-	2	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2022年 10週

分類	疾病名	2022		2021	疾病名	2022		2021	疾病名	2022		2021	
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年	
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	38	247	ジフテリア	-	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-	
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	2	82	
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	
四類	E型肝炎	-	-	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	-	
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	1	
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	6	
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	4	
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	9	日本脳炎	-	-	-	
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	3	57	
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-	
	五類	アメーバ赤痢	-	-	14	ウイルス性肝炎	-	-	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	33
		急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	1	急性脳炎	-	1	8	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	4	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	4	後天性免疫不全症候群	-	-	13	
ジアルジア症		-	-	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	-	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	
侵襲性肺炎球菌感染症		-	6	17	水痘(入院例に限る。)	-	-	9	先天性風しん症候群	-	-	1	
梅毒		-	31	160	播種性クリプトコックス症	-	1	1	破傷風	-	-	1	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	-	1	15	
風しん		-	-	-	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	
※	新型コロナウイルス感染症	3,523	40,138	14,120		-	-	-		-	-	-	

※新型インフルエンザ等感染症

